

郷土のよさに気づき，郷土に関心を高める道徳学習プログラム

前期
「夢を持ち」

中期
「夢を語り」

後期
「志を抱く」

呉のよさに気づく

呉を愛する心を持つ

呉への誇りを持つ

1 事前の取組

【身近な地域について知る活動】

◆ 学習場面 社会科／総合的な学習の時間／特別活動 等

◆ 内容（例）



（例）まちたんけん，呉市めぐり，遠足，社会見学等

- ・ 可能な学校は，呉市の日本遺産の構成文化財を訪れることができるように計画する。
- ・ 地理的な条件で，呉市の日本遺産の構成文化財を訪れることが難しい場合は，社会科で「身近な地域」を学習する際に「日本遺産」について触れる。

※ 「日本遺産学習ノート」の該当ページも活用できる。

2 道徳科

「真っ黒なクレーン」

◆ 主題名 ふるさとのすばらしさ C【伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】

◆ ねらい おじいちゃんから「真っ黒なクレーン」の歴史について聞いた主人公の気持ちを考えることを通して，呉市にはたくさんのいいところがあることに気づき，郷土を愛する道徳的心情を高める。

◆ 教材名 「真っ黒なクレーン」（自作教材）

◆ 学習指導過程（例）

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○：主な発問，◎：中心発問，●：補助発問)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1（案1）「まちたんけん」について振り返る。	（案1）「まちたんけん」について思い出してみよう。 ・ 石やレンガでできた建物が多くあった。 ・ あんなに大きなクレーンを作った昔の人はすごいなあ。	○ 写真を提示したりしながら，感想や気づき等を聞く。
	1（案2）日本遺産クイズにチャレンジする。	（案2）入船山記念館の塔時計の高さは，何mでしょう。 ア 6m イ 8m ウ 10m エ 15m 【参考】「日本遺産学習ノート」にクイズが掲載されている。	○ クイズに関する写真も提示する。

展開	<p>2 教材「真っ黒なクレーン」を読んで話し合う。</p>	<p>○ 「ぼく」は、お父さんが働いている工場のことをどのように思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなクレーンがとても立派だ。 ・ 船造りは呉の自慢だ。 <p>○ 「ぼく」は、小さくて真っ黒なクレーンのことを、どのように思っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古そうなクレーンだな。 ・ 使っていないのに、どうして残してあるんだろう。 ・ 何であんなところにクレーンがあるんだろう。 <p>◎ おじいちゃんの話聞いて、「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あのクレーンが、そんなにすごいとは知らなかった。 ・ 小さくても、日本中に自慢できるクレーンなんだな。 ・ 呉にはすごいものが残っているんだね。 	<p>○ 「造船のクレーン」と「真っ黒なクレーン」に対する「ぼく」の思いが対照的になっていることを押さえておく。</p> <p>☆ 呉の町のよさに気づき、もっと知りたい、大切にしたいという気持ちを抱くことができたか。（ワークシート、発言等）</p>
終末	<p>3 教師の説話を聞く。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>○ 次の写真に共通しているものは何でしょうか。「昭和町れんが倉庫群」「呉市立図書館」「中通り」等、レンガが使われている写真を提示する。</p>  <p>○ 学習したことをふり返り、感想を書きましょう。</p>	<p>○ レンガが昔の文化財だけでなく、今も使われているこ</p>  <p>○ 自分とのかかわりでも考えさせる。</p>

3 事後の取組

【呉市の日本遺産について興味・関心を高める活動】

- ◆ **学習場面** 社会科／総合的な学習の時間／長期休業中の課題 等
- ◆ **内容（例）**

道徳科「真っ黒なクレーン」で学んだことについて想起しながら、以下のような活動に取り組む。
 (例) 日本遺産マップ、日本遺産カレンダー、日本遺産カード、日本遺産かるたづくり 等

- ・ 白地図に、呉市の日本遺産の構成文化財の写真を切り抜いて貼ったり、文化財名を書き込んだり、説明をまとめたりする。また、完成したマップを基に、日本遺産の文化財の特徴等について考える。
- ・ 訪れた日本遺産の構成文化財にシールを貼っていく。

※ 本プログラム冊子の3ページのデータも活用できる。

